

# 長島文芸

## 明神俳句会

茄子の花 諺好きな母なりき  
 枝川に沿ふて路ある夏燕なつばめ  
 肉焼いて煙の庭に酌むビール  
 松の芯 摘むやタンカー 近み航く  
 今日の日 は善き事 続きビール注ぐ  
 少年の産毛 まぶしき柿若葉

筑前 初市  
 迫口 君代  
 二階堂 妙子  
 平山 風鳥  
 大堂 早苗  
 平山 勝子

## 長島短歌会

山越へて生家の見ゆる辺りには  
 早期植田の水湛たまたへをり  
 かかり来し孫の電話の短かさよ  
 言葉足らねば受話器を置かず  
 書を開くわが傍かたわららの飼猫が  
 時折深き息して眠る

岩下ふさよ  
 岩富八代子  
 樫平 頼子

町立図書館おすすめBOOK

# 新刊紹介

図書館に置いてある最新本の中から  
 おすすめのものをピックアップ。  
 バラエティーに富んだ  
 新刊を紹介します。

## 町立指江図書館 / 電話 0996-88-6500

虎退治、賤ヶ岳七本槍——  
 忠義を貫いた豪傑の生き様  
 秀吉配下の豪の者、民を思うこと深き内政の巧者、そし  
 て熊本城築城の英雄。  
 さまざまな側面をのぞかせる加藤清正の一生涯とは——



日本の歴史5 加藤清正  
 すぎた とおる 著

## 町立鷹巣図書館 / 電話 0996-86-1111

# ルリユールおじさん

いせひでこ 著



ソフィーの、大事な植物図鑑がこわれてしまった。町の人  
 から「ルリユール」のところに持っていきと聞いていた  
 ソフィーは、ある路地裏の工房を訪ねる。そこで、本造り  
 職人のおじさんに図鑑を直してもらうことになり…。

野の花が風にゆられて笑ってる

小さき心休まず様に

心弱き吾娘と相向くこの母は

総すべてに甲よろひて語る寂しさ

冷冷とおたくさなれば今更に

古むかしき睦むつみの胸乱さるる

ダムに消へし岐阜徳山の新聞を

読めば昔むかしが漫まろにうかぶ

外は雨病みて臥ふす身の長き日に

嫁の作れる味噌汁旨し

向う田の荒れて葦群風に鳴る

心残して逝ゆきしよ亡夫は

植え終へて酒と赤飯供へつつ

田の神に語る豊作の夢

庭畑に熟れたるトマトわれよりも

先に早朝ひよどり鴨が食ふ

川下奈美恵

米尾 和子

長野 敬

中山タマエ

浜田美代子

浜田 松枝

林 ヒロ

本田 幸子

みまかりし先輩の歌集「雉鳴く」

一首一首に心打たるる

隣よりもらひ来たりし螢ほたるい鳥賊

暗くらき厨くりやに光放ちぬ

かぐや姫いずこの竹に宿りしや

梅雨に濡れある笹の鮮やか

予報より少し進路の変わりたれば

安堵し眠る台風の夜

町田キクエ

松元 睦子

吉田 映子

岩下 ち江

## 一般の方の作品

### 短歌

知ぬなら聞くは一時の恥なれど

知ぬとなれば一生の恥

久々に娘便りてなつかしく

今面前に語らう如し

### 俳句

所在無く夕餉待つ間の大西日

町田 末則

鶯出 成人

川添 行秋